



月刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.12.17 No. 4518

96冬物販 全員で やりぬこう!

今年も残すところあと半月をきり、九六年冬物販も、いよいよ追込みです。

いままでもなく、物販闘争とそこにおける各地区・全国オールのたたかいはー

(1) 解雇者の生活を守るたたか

(2) 解雇撤回・清算事業団闘争 勝利に向けて。

(3) プラス、国鉄決戦勝利のため、JR総連革マル解体のたたかいを全国に広める。

(4) 「全国にはばたこう!」 たかう労働運動の新しい潮流をつくりだす!

◀ 久々の復活で 大人気!

今年の 売れずじ はコレ!



◀ コンスタントな人気

『闘う者こそよく信頼される』正しい道をあきらめることなく、くじけることなく共に頑張りましょう。

(協販部への手紙より)

冬季物販のラストスパートにあたり、今一度、すべての組合員が一人二万円の目標貫徹に向けて、取り組みの強化をお願いします。

開くために、毎回、毎回の物販闘争の勝利をかちとっていきましょう。

さっさと

前へ出よう!

12月13日 協販部への回定期大会

開催(12/13)



二月一三日、全組合員が参加するなか、いすみ支部第十回定期大会が開催された。

大会は、五十嵐副支部長が開会のことばを述べた後、あいさつにたった田中支部長は、「労働千葉は、分割・民営化以降の十年を前へ前へと進んできた。

しかしながら、会社側の不当な攻撃は今も続いており、以前のようにならぬ強い労働千葉に至るまではまだしばらく闘い続けなければならぬ。そうなるためには、

JR総連・革マルを解体し組織の拡大をかちとる必要がある。これから入る若い人たちのためにも、われわれの年代がもう少し頑張りなければならぬ。強い労働千葉復活のために頑張りましょう」と提起。

続いて、来賓として出席した水野勝浦市議、本部田中書記長のあいさつを受け、総括・方針案が一括して提起されたあと、質疑討論に入った。

九六年度新役員体制

支部長	田中広胖
副支部長兼乗務員会長	米元和雄
書記長	山口六衛
会計監査員	五十嵐浩吉

最後に、九六年度新役員を選出し、大会は成功のうちに終了した。また、大会後は懇親会がもたれ、和気あいあいのうちにさらに団結を固めた。

討論のなかでは、未だ四〇時間を超えているいすみ鉄道の労働時間短縮問題、業務の実態に合っていない勤務形態の問題、JRからの出向者の今後の補充問題、年金制度の改悪に伴う様々な問題等がだされ、「もう一歩前へでよう、もうひとつ上へでよう」との運動方針が満場一致決定された。